

# 市の重点目標

報告

広報あわら6月号で、本年度各部が取り組む重点目標を掲載しました。  
今回は、2月末現在での進捗よく状況をお知らせします。

安全で安心な活気あるまちづくりの推進

部長 嶋屋昭則

## 総務部

### ①地域防災計画の改定と 自主防災組織の育成

**目標** 市の地域防災計画を改定する。自主防災組織を80から90組織に増加させる。

▶ 市の地域防災計画について、国の防災基本計画や県の地域防災計画を踏まえ、新たに原子力対策編を設けるなどの改定を行いました。自主防災組織は、新たに10組織が設立される見込みです(96地区・90組織(組織率72.7%))。

### ②北陸新幹線金沢開業を 見据えたまちづくり

**目標** J R 芦原温泉駅周辺の「金津本陣にぎわいづくりプロジェクト」と芦原温泉街の「温泉情緒あふれる華やぎのまちづくり」を推進する。

▶ 金津本陣にぎわい広場の拠点施設「aキューブ」の整備や、温泉街メイン道路のコミュニティ道路化など、北陸新幹線金沢開業に向けたハード事業と、花であふれるまちづくりなどのソフト事業を推進しました。

### ③入札等事務の改善

**目標** 委託業務をすべて電子入札の対象とし、電子入札実施率を75%以上にする。契約事務の適正運用により地元業者の育成と地域経済の活性化を目指す。

▶ 本年度から、電子入札の対象事業費をすべての工事、委託業務に拡大した結果、実施率は80.6%となり、目標を達成できました。今後も入札、契約事務の適正化に努めます。

健全で安定した財政基盤の確立

部長 佐藤雅美

## 財政部

### ①財政基盤の強化

**目標** 歳入歳出両面から財政計画を見直す。本年度末の実質公債費比率を11.0%以下にする。

▶ 昨年末に消費税10%への増税が1年半先送りされましたが、これらの要因も含めた財政計画の全体的な見直しを行いました。

国の経済対策交付金の活用などにより、予定よりも起債を抑制できたことから、平成26年度末の実質公債費比率は10.0%程度になる見込みです。

### ②市税等の収納推進

**目標** 本年度分の収納率98%以上を目指す。滞納者への早期対応や財産差し押さえなど、積極的な滞納処分を実施する。

▶ 県地方税滞納整理機構と連携し、滞納処分を積極的に行いました。1月末現在の差し押さえは184件(前年同期181件)で、市税本年度分の収納率は83.43%(前年同期84.04%)になっています。

### ③個人住民税の特別徴収促進

**目標** 個人住民税の特別徴収が未実施の従業員7人以上の市内事業所に対し、特別徴収への移行を促進する。

▶ 特別徴収制度の周知、直接訪問などにより、対象事業所の約3割が特別徴収に移行しました。さらに、従業員3人以上7人未満の事業所に対しても制度説明を行った結果、そのうち2割が特別徴収に移行しました。

豊かな自然と健康で安心して暮らせるまじづくり

部長 坂東雅美

## 市民福祉部

### ①就学前教育・保育の充実

**目標** 「認定こども園」の施設整備。質の高い幼児教育と保育を提供する環境を整える。

▶ 認定こども園への移行に伴う施設整備は、3月中旬にすべて完成します。また、子ども・子育て支援事業計画や5歳児アプローチカリキュラムを作成し、子どもの健やかな育ちと子育てを支援する環境の整備に努めました。

### ②元気で長生き、豊かな 健康生活づくり

**目標** 特定健診受診率35%、特定保健指導実施率55%、がん検診受診率40%以上に。

▶ 1月末現在の特定健診受診率は23.5%、特定保健指導実施率は36.3%にとどまりました。また、がん検診の受診率は31.6%となりました。引き続き健康維持、健康増進事業に努めるとともに、一層の受診勧奨を推進します。

### ③循環型社会づくりの推進

**目標** エコプラン2000世帯・50事業所、グリーンカーテンづくり100家庭以上。北潟湖の環境保全と観光活用を推進。

▶ エコプランには2061の一般家庭と12の事業所が、グリーンカーテンには52の一般家庭と47の事業所の参加がありました。また、北潟湖自然再生に関する協議会において北潟湖周辺の17集落で住民アンケートを実施し、集計結果をふまえ、北潟湖の保全と活用について協議しています。

### ④市民サービスの充実

**目標** 各種証明書のコンビニ交付に向けた準備を推進。

▶ 住民基本台帳カードを利用した各種証明書のコンビニ交付を4月4日から開始します。これまでの自動交付機からコンビニ交付への移行に伴い、住民票、印鑑証明書および所得証明書に加え、戸籍の謄本、抄本、附票も取得できるようになります。

にぎわいのある観光まちづくりと農業の活性化

部長 城戸橋政雄

## 経済産業部

### ①観光誘客の強化

**目標** ハード整備やソフト事業の充実により、北陸新幹線沿線地域へのPRを強化し、総入込客数を160万人、宿泊客数85万人にする。

▶ 総入込客数は182万人(前年比27万人・17.4%増)となった一方で、宿泊客数は82万人(同0.1%減)と目標を下回りました。これは、消費税増税後の4~6月に、宿泊客が前年と比べ大幅に減少したことが影響したものです。

### ②企業誘致と商業の活性化

**目標** 古屋石塚テクノパークの未売却用地について、年度内成約を目指す。空き店舗への新規出店を目指す。

▶ 購入意欲の高い3社と延べ8回の売却交渉を行ったほか、県外開催の企業立地説明会にも参加しましたが、現時点では成約に至っていません。また、空き店舗への新規出店はありませんでした。

### ③活力ある農業と遊休農地 (耕作放棄地)の解消促進

**目標** 経営所得安定対策や水田フル活用に着実に取り組む。坂井北部丘陵地の遊休農地7ha以上、耕作放棄地5ha以上の解消を図る。

▶ 農地中間管理事業の活用により、水田46haを集落営農や担い手に、畑10haを新規参入の一般企業に集積しました。耕作放棄地の解消は1.4haにとどまりました。

### ④有害鳥獣対策の強化

**目標** 狩猟免許保有者の増員や集落内リーダーの育成などによる地域捕獲体制を強化し、イノシシの捕獲頭数150頭(前年比30%増)以上を目指す。

▶ 新たな狩猟免許(ワナ猟)取得者(見込みを含む)は13人です。有害鳥獣として捕獲・駆除したイノシシは155頭となりました。

## 土木部

### ①交通ネットワークの整備 促進

**目標** 北陸新幹線金沢開業を見据えたJ R 芦原温泉駅周辺整備事業を推進。国道8号福井バイパスや北陸新幹線など交通ネットワークの整備促進に努める。

▶ 北陸新幹線金沢-敦賀間の3年前倒しが決定し、平成34年度末の開業に向け県内の新幹線整備がスピードアップする中、J R 芦原温泉駅周辺整備やにぎわい創出に向けたまちづくりを進めました。

また、国道8号福井バイパスについては、用地買収をほぼ完了し、平成30年の福井国体为目标に、暫定2車線による供用開始ができるよう、関係機関と協議しています。

### ②工事発注時期の適正化

**目標** 道路一般改良舗装事業の早期発注を図り、12月末時点での工事発注率85%以上を目指す。

▶ 冬期間の交通障害の軽減に向け、道路一般改良舗装事業の早期発注に取り組んだ結果、12月末時点の工事発注率は88.6%を達成することができました。

### ③下水道事業の整備促進

**目標** 公共下水道未整備地区の整備を推進、供用開始区域への早期接続依頼を重点に行い、下水道接続率の92%以上を目指す。

▶ 1月末の下水道接続率は91.0%となっており、引き続き、目標達成に向けた排水設備の接続促進に努めます。

安全・安心で快適な住環境の整備

部長 堀江与史朗

教育環境の整備・充実と体力づくりの推進

部長 道官吉一

## 教育委員会

### ①小学校適正規模・適正配置 に向けた取り組みの 推進

**目標** 複式学級を有する小学校の適正規模・適正配置に向けた協議を進める。

▶ 対象となる各地域において、適正規模、適正配置に向けた協議を進めました。その結果、波松小学校地域において、平成28年4月をめどに北潟小学校との統合を進める準備委員会を設立しました。

その他の地域においては、統合検討委員会を組織し、協議を進めています。

### ②公民館の施設整備

**目標** 老朽化した公民館(本荘公民館、中央公民館、湯のまち公民館)の改修・改築工事を行う。

▶ 中央公民館および湯のまち公民館の改修工事が終了し、リニューアルした建物で昨年11月1日から供用を開始しています。

本荘公民館は、早期完成を目指して改築工事中です。

### ③巡回型「チャレンジ・ザ・ ニュースポーツ」事業の充実

**目標** ニュースポーツ教室を体育協会全17支部で開催。PR活動を積極的に行い、前年度比10%増の参加を目指す。

▶ 2月末現在、15支部で15回開催し、360人(24.0人/回)の参加がありました。目標とする前年比10%増には届きませんでした。引き続き気軽に参加できる支部事業として住民相互の交流促進に努めていきます。



重点目標には、目標数値のあるものもないものが混在しているため、進捗よく率を数字で表せないものもあります。目標達成に向けてさらに努力してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

